

## 全国の消費者へ届け！ブロッコリー出発！



▲令和6年産ブロッコリー



▲テープカットの様子

JA中種子野菜集荷所で12月11日、令和6年産ブロッコリーの出発式が行われました。式には、生産者代表や行政、くみあい食品、JAなどの関係者らが出席。関係機関代表者7名がテープカットを行い、出発を祝いました。

種子島では、厳寒期でも安定して露地栽培ができ、地域性を生かせるブロッコリーが人気を集めており、農家に定着しています。種子島産ブロッコリーは令和4年4月、かごしまブランドにも認定されています。

今期は、平年よりも気温が高く育苗等に苦慮しましたが、生育は概ね良好となりました。生産者134名で67.6ヘクタールを作付けし、出荷量は473トンを見込んでいます。

中種子町園芸振興会ブロッコリー部会の森山昭市部会長は、「このブロッコリーの出発式を機に、消費者や生産者はもちろん、ブロッコリーを取り巻く各関係機関、業者の方々等に喜びと幸せをもたらしたい」と話しました。

## 令和6年度鹿児島県家の光大会開催 「家の光」記事活用発表で最優秀賞！全国大会へ！



▲▼表彰された女性部の皆さん

12月5日、JA会館大ホールにて令和6年度鹿児島県家の光大会が開催されました。

その中で、JA種子屋久女性部は、女性部員の購読率50%以上であり、かつ前年度の購読率を維持している組織に贈られる高普及率実績賞を受賞しました。

「家の光」記事活用体験では、「きっかけは、家の光」というタイトルで発表を行った立石トシ子さん（南種子支部）が、最優秀賞を獲得しました。

県大会でも大活躍の女性部。立石さんは2月に行われる全国家の光大会に、県代表として出場します。

